



持続可能な地域コミュニティの構築に関する研究

教育学部 教授 作野 広和

中山間地域を中心とした地域コミュニティに関する研究を30年以上にわたって行っています。中山間地域は、人口減少や高齢化によって生活サービスの縮小、行政サービス水準の低下、地域公共交通の撤退、地域コミュニティ機能の低下、空き家の発生、学校の統廃合、鳥獣害の拡大、耕作放棄地の増加など多くの問題を抱えています。私たちは、これらの問題に対して、住民とともに考え、活動しながら解決することで、持続可能な地域コミュニティの構築を目指しています。主要なフィールドには、研究室の分室である「ラボ」を設置しています。「ラボ」は、島根県江津市、邑南町、奥出雲町、飯南町、出雲市佐田町、兵庫県佐用町の合計5箇所を設置しています。私たちは、これらの「ラボ」を拠点に、住民や行政と一体となり、教育・研究活動やまちづくり活動を行っています。また、フィールドで得た住民の「思い」や「願い」を、研究成果として国会や中央省庁に届けることにより、国の政策に反映されています。

